

京都芸術センターは、明治2年(1869年)に開校した下京第三番組小学校*(後、明倫小学校)が閉校した後、平成12年(2000年)に開設しました。かつて小学校の校庭として使用されていたグラウンドにて、現在も盆踊りや運動会などを開催し、地域の憩いの場として活用しています。

今回のプロジェクトでは、小学校時代から歴史を重ねてきたグラウンドに新しい空間や記憶、状況を創出することを試みます。設計を担当するのは、建築以外の分野の人たちとの協働や公共空間の設計など、異なる背景や強みを持つ日独仏の若手建築家6組。彼らの作品群が創り出す仮設の空間は、グラウンドにどのような記憶を残すでしょうか。

*番組小学校ー明治初期に住民自治組織であった「番組(町組)」を単位として、京都の町集たちの手によって創設された小学校。

監修



「かげろう集落～日独仏の建築家が提案する小さな公共空間群」

五十嵐 太郎
Igarashi Taro

1967年生まれ。建築史・建築批評家、東北大学教授。あいちトリエンナーレ2013芸術監督、第11回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館コミッショナー、「戦後日本住宅伝説」展監修、「3.11以後の建築展」ゲストキュレーター。この秋、スパイラルにて「窓学」10周年記念展監修。

真夏の京都、9日間だけ新しい公共の風景をかたどる集落が出現する。これは日本、ドイツ、フランスに拠点を置く6組の建築家が討議し、いつもと違う空間の使い方を実験的に提案するプロジェクトだ。いずれも木材を使い、ときには日本の歴史的な空間を参照し、あるいは異国ならではの視点を組み込み、小さなパヴィリオンをつくる。はかない蜉蝣／陽炎の集落は、われわれを固定観念から解放し、空間を自由に考える契機となるだろう。(五十嵐太郎)

プロジェクト参加建築家

ドットアーキテクト
dot architects

マスターアーキテクト



家成俊勝、赤代武志により設立された建築家ユニット。大阪・北加賀屋にて、分野にとらわれない人々と組織が集まる「もうひとつの社会を実践するための協働スタジオ」コーポ北加賀屋を拠点に活動。現在のメンバーは家成俊勝、赤代武志、土井亘、寺田英史、宮地敬子、池田藍の6名。

加藤 比呂史
Kato Hiroshi



© Mette Willert

1981年生まれ。2004年武蔵工業大学(現・東京都市大学)卒業後、藤本壮介建築設計事務所に勤務。2010年よりデンマーク、コペンハーゲンに渡りCOBE、KATOxVictoria、Rambøll、Tredje Naturなどで主にヨーロッパでの建築設計、公共空間のコンセプトディベロップメントに従事。

島田 陽
Shimada Yo



1972年生まれ。1997年京都市立芸術大学大学院修了後、タトアーキテクト/島田陽建築設計事務所設立。LIXILデザインコンテスト2012金賞、第29回吉岡賞、日本建築設計学会賞大賞(2016)、House of the Year Award @ AIA Brisbane Regional Awards(2016)受賞。

スヴェン・プファイファー
Sven Pfeiffer



© nsa munster school of architecture

1972年生まれ。これまで、NOX(ロッテルダム)、KSMS(ベルリン)などの設計事務所に勤務。2010年、建築と芸術のための設計事務所SPARCを設立。ベルリン工科大学デジタル建築プロダクション学科長・教授。2014年秋、ヴィラ鴨川にレジデンス滞在した。

ルードヴィヒ・ハイムバッハ
Ludwig Heimbach



© Kay Fingert

1971年生まれ。ベルリン工科大学とウィーン応用美術大学で建築を学び、2004年に自身の建築事務所を設立。自身の作品は第12回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展(2010年)をはじめ、数々の出版物でも紹介されている。2016年春、ヴィラ鴨川にレジデンス滞在した。

セバスチャン・マルティネス・バラ/バンジャマン・ラフォール
Sébastien Martinez-Barat and Benjamin Lafore



© Natacha Nikouline

フランス出身。2016年、ペイズジスト新人賞受賞。2014年、ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展にてベルギー館のキュレーターを務める。現在、ヴィラノアイユにて、建築のアソシエイトキュレーターを務める。2016年度、ヴィラ九条山にレジデンス滞在した。

関連企画

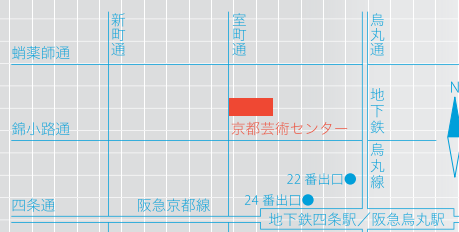
○ 8月26日(土) 18:30-20:00
トーク① 五十嵐太郎 ほか ※日本語のみ

○ 8月27日(日) 16:00-20:00
オープニングパーティー ドットアーキテクト、地元の皆さん ほか

○ 8月28日(月) 18:30-20:00
トーク② スヴェン・プファイファー、ルードヴィヒ・ハイムバッハ ほか ※英語→日本語逐次通訳あり

左記ほかイベント詳細は特設ウェブサイト
<https://kac-architecture.tumblr.com/>
をご覧ください。
※グラウンド集合 ※参加無料、予約不要

アクセス



〒604-8156 京都市中京区室町通錦薬師下山伏山町546-2
TEL:075-213-1000 FAX:075-213-1004
URL:<http://www.kac.or.jp>



平成29年度 文化庁
文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業
Supported by the Agency for Cultural Affairs
Government of Japan in the fiscal 2017

